

2 「窓口に行かない」体育施設利用の実現へ

スマートロックとキャッシュレス決済機能の実証実験を開始

体育施設の利用にかかる手続きに、鍵の貸出や返却を必要としないスマートロックやキャッシュレス決済などを取り入れていくため、実証実験を行います。

実証実験を踏まえ、来年度の全体育施設での本格実施に向けて検証を行い、利用者にとってより簡単に、便利に利用できる仕組みづくりを目指します。

1 スマートロックとキャッシュレス決済の実証実験

① 第1回実証実験(令和4年9月中旬ごろ)

3施設程度に暗証番号形式のスマートロックを導入し、その実用性と現在の施設利用の運用との適合について確認する。

② 第2回実証実験(令和5年2月ごろ)

3施設程度に暗証番号形式のスマートロックに加えて新しい公共施設予約システムのキャッシュレス決済機能を導入し、「窓口に行かない」施設利用の運用について検証する。

2 事業提案事業者との連携協定の締結

今回の事業は、政策課題を有する自治体等とソリューションを持つ企業等とのマッチングを行うことができるオンラインコミュニティ「RIDC (Regional Innovation Digital Community)」(※)を通じて、株式会社構造計画研究所から提案があったものです。

提案事業者と市で検討した結果、実証実験での検証を踏まえて本格導入することが適当であると考え、提案事業者と市で連携協定を締結します。

(※)株式会社テイラーワークスのプラットフォームを活用し、関東経済産業局と一般財団法人日本立地センターが連携して運営

【連携協定締結式】

日 程 令和4年9月12日(月)

会 場 市長公室

出席者 市長、(株)構造計画研究所、スポーツ振興課

3 スケジュール(予定)

今年度の実証実験を踏まえて検証を行い、令和5年10月の本格的な運用開始を目指します。